令和7年1月31日　発行

学校だより　２月　第４０８号

横浜市立六つ川西小学校　（TEL）742−6301（FAX）743−2394
URL　http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/mutsukawanishi/

交流活動で育む「生きる力」

学　校　長

新しい年が始まり、学校生活もいよいよ年度末を迎えようとしています。

本校では今年度より、１年生から６年生までが一緒に活動する「たてわり交流活動」を導入しました。

これまでの「ペア学年」を超え、全学年の児童が交わることで、より多様な学びと成長の機会を生み出しています。

「きらきら全校集会」では、委員会の子どもたちが遊びやゲームを企画し、全学年が一緒に楽しむ時間を共有しました。

高学年が進んで下学年の子どもたちをサポートする姿を見て、下学年の子どもたちが「次は自分たちも頑張りたい」と意欲を示す場面が増えています。最上級生である６年生の協力的な姿勢に触発され、下学年の子どもたちが自然と感謝や思いやりの心を育む様子が感じられ、たいへん嬉しく思います。

このような交流の場は、いじめを防ぐ「生きる力」を育む絶好の機会でもあります。

相手への何気ないひとことが相手の心に大きく影響を与えることがあります。その場では、軽い気持ちで言った言葉でも、相手の状況や気持ちによっては深く受け止められてしまうこともあるでしょう。このような言葉の行き違いがトラブルにつながることもあるため、日々の活動を通じて、互いの立場を理解し合う力を身に付けていくことが大切なのです。

こうした問題を解決するには、単に規則や学校のきまりを教えるだけでなく、他者を思いやる心や共感性、寛容性といった「非認知能力」を育む必要があります。

交流活動には、異学年とのかかわりを通じて多様な視点を学ぶ機会が豊富にあります。

１年生が保育園児と交流した際には、６年生に手を引かれていた １ 年生が保育園児を支える立場になり、しっかりとした態度で接する姿が見られました。お兄さん、お姉さんらしく保育園児の手を引く姿は、ほほえましくも、頼もしささえ感じました。

5年生の球技大会では、対戦校の別所小学校と共に応援歌を一緒に歌う姿がとても感動的で、他者との絆を深める素晴らしい機会となりました。

このような交流の中で育まれる「非認知能力」（社会情動的コンピテンシー）こそが、これからの社会で生き抜くために欠かせない「生きる力」であると感じています。

他者と協力し、異なる意見を受け入れ、共に成長していく力こそが、未来の可能性を広げていくのではないでしょうか。

これからも、本校では様々な「交流活動」を通じて、子どもたちが互いに学び合い、思い合う心を育んでいける環境づくりを進めてまいります。

保護者や地域の皆さまには、引き続き温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

子どもたちの未来を共に見守りながら、一歩一歩成長を積み重ねていけるよう、私たち教職員一同も全力を尽くしてまいります。